

参加者、参加予定者の皆様へ

Build Live Tokyo 2010 審査委員会

IAI 日本

2010/9/29

## Build Live Tokyo 2010 の評価方針について

評価方針：

審査委員会が注目する評価軸

◆1. デザインへの BIM 活用の合理性

- フィードバックをよりよい建築デザイン展開に活かす可能性を見せたか —
- プロセスの各段階で、どのような選択肢から最終案に到達したかを示したか —
- 例：解析結果のフィードバック毎に、デザインがどのようによりよく進化したか

◆2. BIM の可能性にさらに踏み込みこんで、新たな BIM 活用の展開を考え、見せたか

- それは、合理性があるか、意味があるか —
- 今の時代、BIM が何を変え得るのか示したか —
- 例：遺伝的アルゴリズムによるデザイン検討

IAI が注目する評価軸

■3. IFC によるデータ連携が行われたか

- 作成された IFC データの建物情報は適切か —
- IFC を使ってスペース・バリデーションを実施する —
- 提出データおよび、データ連携で IFC が使われたか —
- 例：IFC 活用チェックリスト

前提となる評価軸

◇4. 設計課題適合性、成果物の有用性

- ・設計課題に沿った設計の計画案となっているか
- ・提出物は課題通りか、また提出資料の品質、整合性が十分か
- ・計画案のデザインは魅力的か、合理性、利便性の高い計画案か
- ・計画案はエンジニアリング的妥当性が十分か

審査方法

- ・審査は、バーチャルに計画案を体験するウォークスルーを重視する
- ・評価は1、2および、3、4の総合評価によって行う
- ・重みづけは1、2を重視して行う
- ・予測不可能なデザイン案など、とがったものを評価する
- ・BIM の活用シーンを数多く示すことを評価するが、十分条件ではない

以上